

第六十四回帝國議會
衆議院

船舶安全法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

船舶安全法案(政府提出)
船舶職員法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月二十一日(火曜日)午前十一時
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 向井 倭雄君

理事眞鍋 勝君 理事村上紋四郎君

畑 桃作君 春名 成章君

伊坂秀五郎君 保良淺之助君

山村豊次郎君 金城 紀光君

小谷 節夫君 荒川 五郎君

風見 章君

出席政府委員左ノ如シ

逓信政務次官 牧野 良三君

逓信省管船局長 淺野 平二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶安全法案(政府提出)

船舶職員法中改正法律案(政府提出)

○向井委員長 只今ヨリ開會致シマス、風

見君ノ發言ヲ許シマス

○風見委員 委員長ノ御注意モアリマシタ

カラ、極メテ簡單ニ質問申上ゲマスカラ、

御答辯モ簡單ニ御願致シマス、大體私ハ本

會議ニ於テ、逓信大臣ニ質問申上ゲマシタ

點ニ付テ、其聯絡ニナルノデアリマスルガ、

本來逓信大臣ノ御出席ヲ仰イデ御答辯ヲ願

ヒタイノデアリマスルケレドモ、現内閣ノ

政策、其他抱負經綸ニ關シマシテハ、十分

ニ御了解ニナッテ居ル牧野次官方居ラレマ

スカラ、牧野次官カラ御答辯下サルコトヲ

以テ私ハ満足致シマス、逓信當局ニ於カレ

マシテモ、昨年ノ船舶改善ニ關スル補助ヲ

議會ガ議決シタ當時ニ比ベマシテハ、繫船

ガ非常ニ少クナッタト云フコトハ事實デア

リマスカラ御認メニナルニ相違ナイ、繫船

ガ少クナッタト云フコトハ、爲替相場ノ下落

ニ因ル海運界ノ活況ノ所爲ダト云フコト

モ、是モ無論御認メニナルニ相違ナイ、而

モ海運界ニ活氣ヲアラシメタ船貨客ノ多ク

ナッタト云フコトハ、日本ニ於テハハナイケ

レドモ御認メニナルニ相違ナイ、郵船、商

船當リノ外貨建ノ運賃ハ大變殖エマシタケ

レドモ、ソレハ決シテ日本内地ノ荷物ガ多

クナッタト云フコトデハハナイコトモ御認メ

ニナルニ相違ナイ、隨テ繫船ガ少クナッタ、

海運界ガ活氣ヲ呈シタト云フコトハ、日本

ノ船ガ外國ニ出稼ギラシニ行クモノガ多ク

ナッタト云フコトモ、無論御認メニナルニ

相違ナイト私ハ思フ、サウ云フコトノ結果

トシテ生レ出タモノハ詰リ解體船ノ減少デ

アリマス、斯ウ云フコトガナカッタナラバ、

當然アノ補助ニ依ッテ解體ヲ希望シタデア

ラウ所ノ船モ、斯ウ云フコトガアッタ爲ニ

寧ロ此際大ニ稼ガウト云フノデ、ドシ／＼

外國ヘ出テ行ク、當時船ノ解體ヲ行フコト

ハ、無論造船並ニ海運界ノヨリ好キ基礎ヲ

作ルト云フコトガ目的デアッタニ相違ナイ

ガ、一面ニ於テハ船腹ノ整理ヲシヨウト云

フコトモ當時ノ狀況カラ照シテ、其目的デ

アッタト云フコトモ申ス迄モナイデアリマ

スルガ、サウ云フコトニナッタ結果ハ、解體

スベカリシ船ガドシ／＼出掛ケテ行ッタト

云フコトニナリマスルカラ、不良船ト云フ

コトハ宜シクナイガ、少クトモ優良ニアラ

ザル船ガドシ／＼出テ行ッタト云フコトニ

ナッテ居ル、サウ云フコトノ爲ニ生レタル

結果ハ、即チ船質改善助成ノアノ方針ガ十

分ニ行ハルベキ途ガ求メ得ラレナカッタ、斯

ウ云フ結論ガ生レザルヲ得ナイと思フノデ

アリマスルカラ、ソコデ私ハ其實效ニ關ス

ル事實ヲ示シタ數字ヲ求メタノデアリマシ

タケレドモ、マダ其材料ハ手ニ入リマセヌ

カラ、的確ナル數字ニ於テ申上ゲルコトハ

出來マセヌガ、此間逓信大臣ノ御答辯ノ中

ニハ斯ク／＼ノ申込ガアッタト云フコトノ

御話ガアッタ、無論申込ノアッタト云フコト

ガ實效デナイコトハ、職業紹介所ガアッテ、

澤山ノ申込ガアッタト云フコトガ、職業紹介

所ノ機能ヲ發揮シタト云フコトデハナク、

ドレダケノ就職者ガアッタト云フコトデ初

メテ其實效ガ現ハレル、ソレト同ジ意味ニ

於テドレダケノ解體ガ行ハレ、ドレダケノ

船ガ新シクナッタカ、斯ウ云フ事實ヲ見ナ

ケレバ、無論此實效ハ分ラナイノデアリマ

スガ、サウ云フヤウナ數字ハアリマセヌケ

レドモ、大體ニ於テ色々ノ方面カラ考ヘマ

シテ、此船質改善ノ補助ニ關シマシテハ、私

共ハ好マシカラザル情勢ヲ認メザルヲ得ナ

イノデアリマス、例ヘバ一面ニ於テハ斯ウ

云フヤウナ事實ガ屢、傳ヘラレル、船質改

善助成ノ問題ガ前議會ニ提出セラレル以前

ニ計畫セラレタ船ガ、アノコトガアッタ爲

ニ形式的ニ解體シタト云フコトニナッテ、是

ハ新造船デスガ、後ニ此助成法ノ御助ケヲ蒙ッテ、何十萬ト云フ補助金ヲ貰フタト云フ事實ガアルト言ハレル、斯ウ云フコトハ無論不法ノコトデアリマスガ、解體シテ斯ウ云フコトヲヤルト云フコトハ、無論船ヲ良クスルト同時ニ船腹ヲ整理スル、斯ウ云フコトニナッテ居ッタノデアルコトハ申ス迄モナイニ拘ラズ、斯ウ云フヤウナコトガアッテ見マスルト、事實此補助ガ實效ヲ呈シテ居ナイ、ソレカラ事實又サウ云フ數字竝ニ報告ヲ私共ハ手ニ入レテ居リマセスカラ、ハッキリシタコトハ申セマセスケレドモ、船デハナクシテ所謂工船ガ、解體スベキ船トシテ供サレテ居ルト云フヤウナ事實ガアルカナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテモ私共ハ御尋シナケレバナライ理由ガアルノデアリマス、私共カラ考ヘマスルト、ソレ等二三ノ事實ニ依ッテモ、現在ノ日本ノ情勢ニ於キマシテハ、此助成法ガ船質改善助成ガ問題ニナッタ當時ニ較ベテ、非常ニ狀況ガ變化シテシマッタ、斯ウ云フ場合ニ海運界ノ土臺ヲ固メ、海運市場ヲ確保スルガ爲ニハ、寧ロ私共ハ此際政府當局ニ於テハ船舶ノ輸入ノ如キハ、之ヲ十分或ル程度マデ獎勵スルト云フヤウナコトノ方が、日本海運界ノ爲ニ好イノダカラ、サウ云フヤウナ意

味ニ於テ嘗テアッタ輸入税スラモ之ヲ撤廢シ、若クハ輸入ヲ便宜ナラシムル爲ノ海運界ノ根本政策ヲ示ス法案ノ如キモノヲ提出スルノガ當然デヤナイカ、ト云フコトヲ言フノハ、聞ク所ニ依ルト此船舶輸入ニ關シマシテハ、一片ノ省令ニ依ッテ片付ケヨウト云フ噂ガ傳ヘラレル、現在ノ日本ノ各方面ノ情勢ニ照シマシテ、殊ニ國際聯盟ノ問題ガア、云フ重大ナル轉化ヲ遂ゲツ、アル所カラ申シマスレバ、私共ハ寧ロ輸入ヲ獎勵スベキ理由スラモ成立チハシナイカト思フ、成程世界ノ海運界ハ非常ニ不況デアッテ英吉利ノ造船業ノ如キモ、私昨日倫敦「タイムス」ヲ見タノデアリマスガ、「ロイド」ノ「レデスター」ガ始ッテ以來非常ナ驚クベキ減退ヲ來シテ居ル、例ヘバ昨年度ノ如キハ十八萬噸シカナカッタ、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ルコトハ、結局世界ノ海運界ガ非常ニ悪クナッテ居ル證據デアル、ソコデ船腹ガ非常ニ餘ッテ、恐ラク千二百萬噸位ハ過剩シテ居ヤシナイカト言ハレルノダサウデアリマスガ、是ハ私ハ専門家デアリマセヌカラ知リマセヌガ、斯ウ云フコトハ一面ニ於テ、遞信大臣ハ外國カラ賣リニ來ル安イ船ハ、全部「ダンピング」ノ惡イ船ダト云フヤウニ仰シヤッタト記憶シマスケレドモ、一

概ニ外國カラ來ル安イ船ハ惡イノダ、斯ウ云フ風ニハ言ハレナイト思フノデアリマス、現ニ私ノ知ッテ居ル限りニ於テモ、例ヘバ、現在日本トノ輸入交渉中ニアル船ノ中デモ、千九百二十年ニ造ッタ船、或ハ歐羅巴戰前ニ造ラレタ船、サウ云フヤウナモノガ現ニ營業者ニ依ッテ交渉中デアリ、其船ガ非常ニ安ク買ヘルト云フヤウナ報ヲ耳ニスルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事實カラ考ヘマシテモ、徒ニ船舶ノ輸入ヲ止メルト云フヤウナコトハ、勿論間違ナルノミナラズ、斯ウ云フ世界ノ情勢カラ考ヘマスルト、私ハ船舶ニ關スル輸入若クハ其他ノコトニ關シマシテハ、省令ナド、云フ簡單ナコトデナクシテ、議會ニ掛ケテ政府ノ此點ニ關スル抱負經緯ヲ十分ニ明ニシテ、然ル後ニ議會ニ依ッテ定メラレタル法令ニ依ッテ決定スルコトガ、當局トシテハ當然ノ措置デハナイカ、申ス迄モナク現在ノ如ク日本内地デ造ルガ如キ高イ造船費デハ、ドンナニ外國ニ行ッテ競争シヨウトシマシテモ運賃ガ引合ハナイニ相違ナイ、何ヨリモ船價ノ低廉ト云フコトガ必要デアッテ、其船ガ安ク買ヘル、斯ウ云フノデアリマスカラ、輸入スルト云フコトニ付テ、ソレ程私ハ、此間遞信大臣ガ言ハレタ如ク、外國ノ船ヲ全部惡イ

モノニシテシマッテ考ヘル必要ガナイノミナラズ、世界ノ海運界ノ現狀カラ申シマシテモ相當良イ船ガアル、ノミナラズ現在取引交渉中ノモノデモ相當良イモノガアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ハ寧ロ一片ノ省令ニ依ッテ決メルト云フヤウナコトヨリモ、一ツ議會ニ掛ケテ、政府ノ海運政策ニ關スル根本方針ヲ示シテ、此態度ヲ決定スルコトガ當然デハナイカ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、勿論斯ノ如クスルコトニ依ッテ、海員失業問題ノ解決モ出來ルノデアアルシ、勞資關係ハ別ト致シマシテモ、働き得ル勞働力ヲ此儘ニシテ置クト云フコトハ非常ニ間違デアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘルト、安イ船ヲ買ヘルナラバ、出來ルダケ是ガ輸入ヲ許スト云フコトガ當然デアアル、ノミナラズ聞ク所ニ依ルト内地ニ輸入ハ許サヌガ、大連デハ許ス、サウ云フ方針ヲ採リマシタナラバ、折角サウ致シマシテモ結局左マデ實效ヲ奏サナイノデアルカラ、寧ロ全日本、滿洲ト云フヤウナモノヲ一貫シタル、一ツノ統一アル方針ノ下ニ、斯ウ云フ問題ハ處理スルノガ當然デナイカ、詰リ私ノ間ハント欲スル所ハ、日本ノ海運界ノ足場ヲ固メテ行ク爲ニ、同時ニ今日ノ如キ非常時ニ際會シテ、平常時ト違フノデアアル

カラ、良イ安イ船ガ現ニ取引交渉中デアルト云フヤウナ情勢ニアルノデアルカラ、政府ハ斯ノ如キ問題ニ關シマシテハ、嘗ニ一片ノ省令ニ依ッテ片付ケルト云フコトハ止メテ、此船舶法案ノ如キ法律ト同時ニ、サウ云フモノニ對シテモ、議會ニ掛ケタ法律ニ依ッテ、立案スル方針ヲ示ス御考ガアルカ無イカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ今此船舶法案ニ關シテモ、此間ノ遞信大臣ノ答辯ヲ私甚ダ慥ラナイ實例ノ一ツハ、私共ノ手ニ入レタ資料ニ依リマスルト、是ハ三井ノ船ニナッテ居ルソウデアリマスガ、万田山丸、愛宕山丸、或ハ吾妻山丸其他天城山丸トカ三陽丸ト云フヤウナモノハ、解體サルベクシテ現在稼イデ居ル、斯ウ云フヤウナ情勢ニナッテ居ルト云フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ話デアリマス、船質改善補助ノ實效ハ現在甚ダ疑ハシイ情勢ニシカナッテイナイデハナイカ、斯ウ云フ結論ニ厭デモ到達セザルヲ得ナイ、此點ニ付テ當局ノ御答辯ヲ御願シタイト思フノデス

○牧野政府委員 只今ノ風見君ノ御質問ニ御答致シタイト思ヒマス、只今、船舶行政ノ根本ニ關スル重大ナ御質問デゴザイマシテ、此機會ニ當局ノ方針ヲ申上グルコトハ極メテ必要ナコト、存ジマス、大體御説ノ

如キ主張ハ、昨年ノ臨時議會ニ於テ船質改善案ガ將ニ議會ニ提出セラレントシマス際ニ、民間ノ有力者ヨリ其時既ニ教ヲ受ケタ事實ナノデアリマス、是ハ立論ノ根據ガ要スルニ自由主義ノ立場ニアラレルモノト解スルノデアリマスガ、寧ロ我國ノ如キ海運國ハ極度ニ自由主義ヲ奉ジテ、船舶業者ノ自由ナル手腕ニ信賴シテ、廣ク世界ニ海運國トシテノ手腕ヲ伸張シテハドウカト云フコトニ、根據ヲ致シテ居タヤウニモ思フノデアリマス、隨テ今日ノミナラズ、昨年ノ情勢ニ於テモ、船舶改善ト云フヤウナコトヨリモ、寧ロ是ハ造船獎勵ト云フコトニシテ、モット他ノ方面ニ船質改善ノ實ヲ擧ゲテ、一般殊ニ社外船主ノ方面ニ其潤ヒヲ深クシテ與レテハドウカト云フ話モアッタノデアリマスガ、今日私共ノ考ヘテ居リマスルコトハ、大體ニ於キマシテ我國ノ海運界ノ情勢ト云フモノハ、噸數ニ於テ世界ニ彼此レト競争ヲスル時代デハナクテ、内容、實質、即チ優良船ヲ以テ世界ノ海運界ニ馳驅スル時代ニ入ッタ、茲ナノデアリマス、船質ノ良否ナンカ問フ時デヤナイ、苟モ航行スルニ足ル程度ノ船ヲ以テ、自由ニ全世界ノ海運界ニ馳驅シヨウデヤナイカト云フ説ト、退イテ時勢ヲ達觀シ、將來ヲ慮ッテ優良

船デ以テ世界ノ海運界ニ臨ム、此二ノ出發點ガアルノデアリマス、ソコデ私ハ切ニ風見君ニ御願致シタイト思ヒマスノハ、此點ニ留意ヲシテ戴キタイト思フノデアリマス、ソコデドラガ宜イカ、今日我國ガ海運界ノ方針ニ關シテ、色々ノ論議ヲ重ネナケレバナラスト云フコトガアッテハナラス、デアリマスルカラ、自分ノ議論ノ行掛リヤナンカニ囚ハレナイデ、方針ヲ決定シテ、決定シタ方針ヲ遂行スルニ苟モ論議ヲ用ヒナイト云フコトデ行クコトガ大切ナンデハナイカ、而シテ其狀況ガ昨年ト今年デハドウデアアルカト云フ點ガ重大デアリマス、風見君ノ御説ヲ承リマスルト、昨年ハ良カラタ、而シテ年ヲ越エタ今年、昨年ノ暮カラ今年ニ掛ケテノ情勢ハドウカ、全ク海運界ト云フモノハ殆ド面目ヲ一新シテ非常ナ好況ヲ呈シタデハナイカ、是ガ即チ我國ノ現在ノ海運狀況ノ事實ノ理解如何ニ依ルノデアリマス、一部ノ人々ハ大變海運界ガ殷盛ニ赴キマシテ、運賃ガ非常ニ高クナッテ、殊ニ此際外貨建ノ運賃デ以テ働クナラバ、日本ニ大變ナ利益ガアル、デアルカラドシノ其方針デ以テ積極的ニ働ケバ宜イト云フノデアリマスガ、是ハ事實ノ調査ノ上ニ俟タナケレバナラスト思ヒマス、私共モ昨

年ノ暮ニハ非常ナ上向ノ情勢ヲ示シマシテ、殆ド風見君ト同ジヤウナ心持ヲ持ッテ進マナケレバナラストデヤナイカト云フヤウナ情勢モ一時示シタノデアリマスガ、全クソレハ世界的ノ事實デナク、單ナル一部一局ノ方面ニ於ケル事實デアリマシテ、之ヲ運賃ノ方面カラ申シマシテモ、既ニ風見君ノ御承知ノ通り、昨年ハ門司濱間二圓三十三錢内外致シテ居リマシタモノガ、俄然此一月ニナリマススト一圓カラ下ッテ居リマシテ、今日デハ一圓三四十錢ト云フヤウナ狀況ニナッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ此時局ノ際ニ於キマシテモ、古船ヲ噸數ニ於テ澤山背負込ムヨリハ、ソレヲ早ク優秀船ニ變ヘテ、サウシテ國家内外ノ非常時ニ備ヘルト云フコトガ寧ロ必要デナイカ、サウ云フ風ニ考ヘマス、茲デ昨年ノ臨時議會ニ決定シマシタ方針ト云フモノハ其儘今日維持シテ、速ニアノ趣旨ヲ實現シテ、我が海運界ノ實質的建直ヲスルコトガ必要デナイカト思ヒマス

翻ッテ第二ノ狀況ニ至リマスルト、非常ニ狀況ガ好クナッタヤウニ世間ニハ見エルノデアリマスルガ、而モ皆様御承知ノ通りニ、内地ニ於ケル繫船ガ二十一萬噸以上ゴザイマス、之ヲ内地以外ニ在リマスルモノト併

セマスルト、恐ラク二十五萬噸ヲ越エハシ
ナイカト思ッテ居リマス、ノミナラズ御承知
ノ通りニ海員ハマダ大變過剩ノ狀況ニアリ
マシテ、政府ハ非常ナ苦心ヲ致シマシテ、
此非常時ノ際ニモ五十萬圓カラノ失業海員
ノ爲ニ特別ノ金ヲ支出セント致シテ、既ニ
衆議院ノ協賛ヲ得テ居リマスガ、ソナナ狀
況ニアリマスル際、モウ少シ海運界ノ實情
ト云フモノニハ、腰ヲ据エテサウシテ我國
ノ海運界ノ實情ノ向上ト云フコトニ、心ヲ
致シテ行ッタ方ガ宜イノデハナイカト思フ
ノデアリマス

第三ニハ、併ナガラソレハオ前ノ議論デ
アッテ、實際ノ狀況ハドウダト云フ點デアリ
マスルガ、ソレニ付テハ過日本會議ノ席上
ニ於テ、逕信大臣ガ御答申上ゲマシタヤウ
ニ、昭和七年度ニ於ケル船質改善ノ狀況ハ、
豫定以上ニ參ッテ居リマスルガ、昭和八年度
ニ於キマシテモ單純ナ申込ト云フニ止ラズ
シテ、確實ニ豫定額ハ越エルコトヲ信ジテ
居リマス、ト言ヒマスノハ、既ニ是モ御承
知ノ通りデアリマスガ、内地及殖民地ニ於
キマシテ船舶改善助成施設ノ實際ニ於テ、
解體見合船トナリ得ルモノガ合計八十八萬
噸餘リアリマス、此八十八萬噸餘リアリマ
スル中デ、昭和七年度ニ十萬噸ヲ解體致シ

マシテモ、尙ホ殘リガ七十八萬噸モアルノ
デアリマスカラ、是ノ間カラ昭和八年度ノ
解體船ノ見合船ヲ見出スト云フコトハ極メ
テ容易ナコトデ、其處ニハ少シモ憂慮スベ
キ點ガナイ、即チ今日ノ海運界ノ情勢カラ
言ヒマシテモ、海運界ガ吾々ニ示ス數字ノ
上カラ申シマシテモ、而シテ過去カラ將來
ヲ達觀スル方面カラ申シマシテモ、此船質
改善ノ方針ト云フモノハ依然トシテ之ヲ實
行シテ、速ニ或ル程度ノ效ヲ早ク收メルヤ
ウニ進ンダ方ガ、風見君ノ御趣旨ニモ副フ
結果トナルノデハナイカト思フノデアリマ
ス

第四ニハ新造船トシテ、此船質改善ノ施
設ヲスルニ當ッテ、從來既ニ造船計畫ヲシ
テ、ソレガ船主ノ關係上偶然ニ船質改善施
設ヲ利シタ、サウシテ思ハズモ期待セザル
利益ヲ得タモノガアルヤニ聞クガ、サウ云
フ事實ガアルカ、即チ船質改善ト云フコト
ガ、君等ノ期待スル實質的、理想的改善ニ
ハ進マナイデ、途中ニ斯ウ云フ奇怪ナ事實
ガアルト聞クガドウカト云フコトデアリマ
スガ、ソレハアリマセヌ、事實ニ於テモア
リマセヌノミナラズ想像シ得ナイコトハ、
全部十一月一日以後ニ「キール」ニ据付ケ
タモノノミニ關スルノデアリマスカラ、此

點モ惡イ方面ノ風説ニ止ッテ、御心配ノヤウ
ナコトハナイト思ヒマス、又ナイコトニ努
メマス、過去ニ於テモアリマセヌ

又第五ニハ解體船トシテ工船ガ利用セラ
レテ居ルト云フ事實ハナイカ、是ハアリマ
ス、一艘アリマス、工船ハ御承知ノ通りニ
極メテ容易ニ貨物船ニ改造サレルノデアリ
マスガ、隨テ此工船ガ引合船ニナリマシタ
ル結果トシテ、代船トシテ國內ノ運航船ヲ
工船ニ改造シテ之ニ當嵌メラレテ居ル、此
點ニ於テモ實質的ノ改善ガ行ハレタコトヲ
御喜ビヲ戴キタイト思フノデアリマス

第六ニハ逕信大臣ノ答ヘマシタル言葉ノ
中ニ、今輸入スル船ハ外國ノマヰイ船バカ
リデ、ソレガ「ダンピング」サレルト云フ
コトヲ言ハレタケレドモ、必シモサウデヤ
ナイ、具體的事例ニ於テモ決シテサウデヤ
ナイ、ソナナ風ニ思フト云フコトガ抑々大
變ナ認識ノ相違ガアルト云フヤウナ御質問
デアッタト思ヒマス、是ハ大體當局者ノ考ヘ
マスル所デハ、只今輸入ヲシテ居リマス船
ハ、千九百二十年以前、又ハ千九百二十
年前後ニ新造セラレタルモノデアリマシ
テ、極メテ不經濟ナモノデアアルコトヲ恐レ
ルノデアリマス、何トナレバ是モ風見君ノ
既ニ御承知ノ通り、造船術ト云フモノハ非

常ナ劃期的ノ進歩ヲ致シテ居リマシテ、當
時ノ船ヲ輸入致シマスと云フト、非常ニ石
炭ヲ食フノデアリマス、デアリマスルカラ、
是ガ石炭ノ消費量ニ於キマシテモ非常ナ差
ガアッテ、是ガ不經濟船トナルノミナラズ、
然ラバサウ云フ不經濟ナモノヲ、一體商賣
人ガ輸入ヲシテ儲ケルト云フ筈ガナイデハ
ナイカ、オ前達ハ机ノ上ノ議論ヲスルノデ
アルガ、實際輸入セントスル者ハ利益探算
ト云フコトヲ中心ニシテヤッテ居ルノデア
ルカラ、ソナナ心配ハナイト云フ考ガ何
人ニモアルノデアリマスガ、是ハ商賣ニ
從事シテ己ノ利益ヲ商業的ニ得ルト云フ
方面ト、國家海運界ト云フモノヲ大局カ
ラ見テ、將來ニ如何ナル影響ガアルカト
云フコトヲ考ヘテ仕事ヲスル者トノ間ニ、
重大ナ差ノアルコトヲ切ニ私ハ風見君ニ
御考ヲ戴キタイト思ヒマス、今此處デ船
ヲ輸入スレバ、ソレハ目先ノ利益ハアルモ
ノト私ハ認メル、サウシタ事實ハ「トラン
パー」トシテ利益ハアリマス、アリマスケ
レドモソレハ一時ノ利益デアアル、船價ヲ償
却シテ將來永遠ニ利益ノアルモノデアアルカ
ト云フコトヲ疑フ、ソコデ此一時ノ狀態
ガナクナリマス、此不經濟ナル、嬉シカ
ラザル、船質ノ惡イ船ガ日本ニ殘ッテ、サウ

シテ居所ガナクナッテ、内地ノ沿岸ヲ荒スト云フコトニナリマス、茲ニ日本ノ海運界ノ内容實質ニ突込シテ害ヲ及ボシテ來ルノデアリマス、デアリマスカラ一時ハ其人ハ儲ケルガ、一時儲ケタ其結果ガ將來ノ日本ノ海運行政ノ上ニ於テ、非常ニ憂慮スベキ結果ヲ招來スルノデアリマス、デハドウスルカ、禁止スルカ、禁止スル途ハナイ、ソコデ當局ガ見ルト良イ船モアルシ、惡イ船モアル、當局ハ原則トシテ惡イ船ト思フテ居ルガ良イ船モアル、良イ船ヲ安ク買ッテ來ル手腕ノアル人々ガアルカラ、ソコデ禁止ハセヌ、其船ノ内容實質的ニ見テ、適當ニ之ヲ處理スルノ方針ヲ取ッテ行キタイ、ソコデ問題ガ起キテ來ルノデアリマス、本當ニ良イ船ヲ安ク國家ノ爲ニ入レテ來ルヤウニシタイト思フテ、其人ガ管船局ニ來テ、斯ウシテ居ルノダ、オ前達トハ違ッタ考ガアルノダト言ッテ、其處デ懇談ヲシテ、モット國ノ政治ガナダラカニ便宜ニ行クヤウニ、國家ノ將來ニ利益ガアルヤウニ考ヘテヤッテ呉レルト宜イノデアリマスガ、其種ノ人ガ少シモ當局ヲ訪問シテ呉レナイデ、唯蔭ニ廻ッテ、色々ナ文書ヤ他ノ人々ニ依ッテ意見ヲ公表スル、サウスルト海運界ニ對スル材料ヲ多ク備ヘテ居ナイ人々ガ、何ダカ其説ガ正

シイヤウニ思ハレテ、當局ノ遣リ方ニ誤リガアルノカト云フヤウニ危惧ノ念ヲ懷カレル、國家非常時ノ此時ニ、總テノモノニ對スル行政ト云フモノガテキパキト行カナケレバナラス此時ニ、殊ニ私ハ海運界ニ取ッテハ大切ナル時デアリマスカラ、ドウカ不明ナ點ハ全部サラケ出シマシテ、サウシテ議論ノ盡サル所ハ十分資料ヲ以テ御説明申上ゲタイト思ヒマスカラ、是等ノ點ニ立ッテ此非常時ヲ利用シテ、我國ノ海運界ノ躍進的ノ發展ヲ爲スノ基礎ヲ拵ヘタイト云フ心持ダケハ、何卒御諒承ヲ戴キタイト思フノデアリマス、殊ニ省令ノ問題ニ付テノ御説ノ如キハ洵ニ是ハ當局トシテハ十分注意ヲシナケレバナラスコトデアリマスルガ、ドウモ國家ノ大局ト云フコトヨリモ、儲カル目先ト云フコトニ依ッテ仕事スル人々ガ多過ギテ困ルノデアリマス、デアルカラ其人々ハ國家ト一緒ニナッテ其人々ノ利益ハ少シ殺ガレテモ、國家ノ不利益ガ餘リ多クナイヤウナ程度ニ步調ヲ合セテ、此船舶ニ關スルコトナドハヤッテ行キタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、ソレデ適切ナ施設ト云フガ如キモノハ成ベク簡便ナル方法ヲ以テヤッテ行キタイ、而シテ只今ノ場合ニ於キマシテ、關東州ノコトノ御憂慮ナドハ御尤デ

アリマス、デアリマスカラ是ハ其方面ニ於テモ出來ルダケ包含スルヤウニ交渉ヲ致シマシテ、遺憾ナキ途ヲ講ジタイト思ヒマスガ、當局ニハ左様ナ苦衷ノアルコトデアリマスカラ、形式等ニ關シテハ更ニ十分調査モシ、研究モシ、御諒解ヲ得ルコトニ努メマスガ、暫ク當局ノ爲ス所ヲ、此程度ニ於テ信頼シテ戴キタイト切ニ思フ次第デアリマス

○風見委員 只今牧野次官ニ依ッテ懇切ナル説明ヲシテ戴イタノデ、日本ノ海運政策ノ根本方針ニ關スル説明ハ之ヲ諒致シマス、諒ト致シマスガ、ソレ程迄ニ當局ニ於テハ海運政策ノ根本ヲ正シウシテ、將來ニ於ケル我國ノ海運ノ發展ヲ希望シテ居ル以上ハ、私更ニ中上ゲテ置キタイノデアリマスカ、申ス迄モナク現在ノ世界ノ情勢カラ考ヘマシテモ、大體ニ於テ經濟的情勢ハ、製鐵問題ニ關シテ中島商工大臣ガ言ハレタコトデアリマスガ、日本ニ於テハ所謂極東「ブロック」、若クハ東洋「ブロック」、斯ウ云フ中ニ入ッテ一ツノ統制アル經濟情勢ヲ作ラナケレバナラス、私ハ此方針ハ、大藏大臣ガ今期ノ議會ニ於テ我國ノ情勢ヲ論ジ、自由貿易主義ノ行詰リヲ指摘シタル所カラ考ヘマシテモ、現内閣ノ經濟情勢ニ關スル根本認識ダ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、又ソレガ當然デアッテ、私共モ其意見ニハ無論同感デアリマスガ、サウ云フ認識ノ上ニ立チマズレバ、殊ニ重要ナル海運政策ニ關シマシテハ、日滿間ノ密接ナル統制ガナケレバナラナイト云フコトハ申ス迄モナイ、然ルニ此輸入ニ關シマシテモ、私ハ只今牧野次官ニ依ッテ言ハレタヤウナ御趣旨デアルナラバ、大連ダケハ構ハズニ殘シテ置ク、是ハ甚ダ跋ナ遣方デアッテ、私ハ寧ロ此際政府ハ此點ニ於キマシテハ、滿洲國ト日本トノ經濟的提携ノ根本ヲ成ス、此間ノ統制的ナ方針ヲ引括メタル海運政策ノ根本ヲ作出シテ、統一アル政策ヲ實現スルコトガ當然デハナイカト思フノデアリマス、單ニ内地ダケ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デアッテハ——御希望竝ニ考ヘテ居ル所ニハ私賛成デアリマスケレドモ、單ニ内地ト云フコトダケデハ海運政策ノ本當ノ根本ハキマルモノデハナイ、又ソレデハ定メタ所ガ實行ハ甚ダ疑ハシイト云フ結果ニナッテシマフカラ、斯ウ云フ點ニ關シテ當局ハドウ云フ考ヲ有ッテ居ラレルカ、只今牧野次官ノ言ハレタ如ク、良イ船ハ無論入レテ宜イガ、惡イ船ハ困ル、ソレハ將來痛トナッテ殘ルカラサウ云フ船ハ來ナイヤウニスル、御説御尤デアリ

マス、併シ一面ニ於テハ良イ船ナラ買入レルノデアル、斯ウ云フ建前カラ申セバ、現在ノ日本ノ情勢カラ申シマシテモ、良イ船ヲ出来ルダケ日本ニ入レルト云フコトハ、一面ニ於テ船舶ノ新陳代謝ヲ行ハシムル所以デアッテ、成程惡イ船デモ何デモ宜イカラドン／＼入レルト云フコトハ間違アルケレドモ、良イ船ヲ買入レルト云フコトニ依ッテ、古イ船ヲ淘汰スルト云フコトハ確ニ是ハ一ツノ有效ナ方法デアルカラ、サウ云フ考ヘ方カラ申シマスナラバ、寧ロ良イ船ニ對シテハ、輸入税ヲ撤廢シテマデモ其輸入ヲ獎勵シテ行クト云フコトガ、現在ノ日本ノ海運界ノ情勢カラ言ッテモ、將來ニ對シテモ宜イノデハナイカ、現ニ英吉利ノ如キハ日本ニハ船ヲ輸出シナイヤウニシヨウデヤナイカト云フ話サヘアルト云フ有様デアッテ、斯ウ云フコトハ良イ船ガ日本ニ入ッテ來ルト云フコトニ對スル一ツノ危惧デ、其船ヲ以テ日本ガドン／＼活躍シテ行ケバ英吉利ノ海運界ヲ脅カス、ソレニ付テノ一種ノ危惧ガサウ云フコトヲ言ハレル原因ニナッテ居ルコトヲ考ヘマスト、滅茶々々ニ、無統制ニ輸入スルコトハ無論間違デアリマス、勿論ソナコトヲ私ハ希望モシナイケレドモ、良イ船モアル、又私共ノ考ヘ方

デハ世界海運界ノ現在ノ情勢カラ申シマシテ、世界ノ海運業者ノ中ニモ、良イ船ヲ持ッテ居リナガラ、此不況デハ仕様がナイ、仕方ガナイカラ、何處カヘ賣ラウ、斯ウ云フモノアルニ相違ナイノデアルカラ、サウ云フ船ノ輸入ハ寧ロ獎勵スルノガ當然ナ國策デハナイカ、サウナッテ來レバ寧ロ輸入税クライ撤廢シテモ宜イト云フコトガ當局トシテハ當然ナ話デハナイカ、當局ハ斯ウ云フ點ニ付テドウ云フ考ヲ有ッテ居ラレルカ、無論私ハ、先程牧野次官ノ言ハレタル、日本ノ海運業ノ根本ヲ確立スル、ソレガ爲ニ優良船ヲ出来ルダケ多ク致シ、船質ヲ良クスル、サウシテ將來ニ於ケル大發展ノ基礎ヲ作ル、此考ヘ方ニハ無論寸分ト雖モ異議ノアル譯ハナイノデアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ考ヘ方ヲ實現シテ行ク爲ニハ、日本、滿洲ニ於ケル海運政策ノ統一、之ヲ圖ル見地ニ於テハ、大連港ダケヲ輸入自由ニシテ置クト云フコトハ無論間違デアル、ソコニ何等カノ方策ヲ決定シテ、統一シタル方策ヲ決定シナケレバナラス、此點ニ關スル當局ノ所見如何ト云フコトガ一ツ、竝ニ牧野次官ガ認メラレテ居ル所ノ、良イ船モ入ッテ來ルデアラウ、サウ云フコトヲ考ヘタ場合ニハ、將來優良船ニ依ッテ海運業界ニ飛躍

スルト云フ意味ニ於キマシテモ、輸入税ヲ撤廢シテマデモ、サウ云フモノ、輸入ヲ獎勵スルコトガ當然ノ處置デハナイカ、ノミナラズ、サウヤッテ良イ船ヲ輸入シテ來レバ、由テ以テ船質改善法ヲシテ一層實效ヲ舉ゲシメル結果ヲ來シ、船舶ノ新陳代謝ヲシテヨリ便利ナラシメル、此點ニ對スル當局ノ所見如何、此二ツヲ御伺致シマス

○牧野政府委員 御答致シマス、只今ノ御質問ノ二點ハ、極メテ重要ナ、而モ當局ノ常ニ心配ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、第一ノ、内外ノ統制ノ點、是ハモウ御説ノ通りデアリマス、之ヲ妨ゲルヤウナコトガアッテハナラヌト思ヒマス、唯是非私ハ委員會ガ此點ニ付テハ十分ナ御諒解ヲ下サイマシテ御協力ヲ願ヒタイ、此點ハ風見委員ノ御質問ノ趣旨ヲ、ドウカシテ、同じ心持デ、當局ニ實行サシテ戴クヤウニ切ニ御願ヲ致シタイ、唯此點ニ大變ニ世間ニハ誤解ガアッテ大連ノアノ澤山ナ物資ガ日本ノ船デ運バレンナイ、ソレデ安イ船デモ持ッテ來テ、ドシ／＼運ンダラドウカト云フ机ノ上ノ議論ヲサレマシテ、ドウ云フ譯デ大連ノ荷物ガ外國船ニ一部分行クカト云フヤウナコトヲ究メナイ、御承知ノ通り外國ノ船ハ、來ル時ニハ東洋ヘ荷物ヲ積ンデ參リマシテモ、

歸リノ荷物ガナイ、ダカラ普通ナラバ石ヲ積ンダリ、水ヲ積ンダリシテ、行クト云フヤウナ勢デアルガ爲ニ、運賃ナドハ構ハナイデ、大連ノ豆ナドヲ積ンデ行クト云フコトノ爲ニ、外國船ガ大連ニ於ケル滿洲特產品ニ對スル特殊ノ優越ナ地位ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ、特殊ノ事情ノアルコトヲ知ラナイ人々ガ、大變大連ノコトヲ論ジラレル、其爲ニ禍トナッテ居ルノデアリマスガ、只今ノ風見サンノ御意見、極メテ當然デアリマシテ、ドウカシテ當局モ左様ナコトニ手落ガナイヤウニ、只今私が申述ベタル趣旨ヲ一貫シテ統制シテ、過去ノ十九世紀文明ノ中心デアッタ自由主義ナド、云フモノハ、特殊ノ方面ニ囚ハレナイデ、二十世紀文明ノ中心思想デアアル共存共榮ノ統制經濟ト云フコトノ基礎ノ下ニ於テ進ムト云フ上カラシテモ、ドウシテモ是ハ内地ダケデハナイト思ヒマスノデ、深く御趣旨ヲ體シマシテ、御希望ニ副フヤウニ微力ヲ盡シマスト思ヒマス、第二ノ優良船ノ問題デアリマス、是ハ外國船ノ優良船ノ安イモノヲドン輸入スルニ付テ、關稅ナンカハ相當下ゲデハドウカ、場合ニ依ッテ撤廢シテハドウカト云フ御説モ至極御尤デアリマス、御承知ノ通り唯日本ハ海運國デアリマスノ

ト、東洋ニ於ケル特殊ノ地位ト、世界ノ發展ノ將來等ヲ考ヘマシテ、我國ノ造船事業ト云フモノハ世界的ニ獨立シテ其基礎ヲ確立シナケレバナラヌト云フ點カラシテ、關稅政策ヲ行ッテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り、我國ノ造船能力ハ只今六十萬噸餘リデアリマシテ、是ガ動搖致ス、動搖スルコトナク之ヲ基礎付ケタイト云フノデ、御承知ノ通り最近ニ至ッテハ、我國デ製造シマスル船ハ軍艦ハ勿論ノコト、商船ト雖モ、世界的ノ優秀ナモノニナル迄發達致シマシタ、コ、暫ク此關稅ノ障礙ヲ以テ保護助長シテ行キマスルナラバ必ズ風見君ノ只今ノ御質問ノ趣旨ニ副フコトガ出來ルト存ジマス、此二點、御趣旨ヲ體シテ貴意ニ副フヤウニ努メテ行キタイト存ジマス

○風見委員 船質改善助成ニ關シテハ、牧野次官カラ何等世間ノ誤解ヲ招クヤウナコトナク、着、實效ヲ舉ゲテ居ル、私ハ牧野次官ノ其御答辯ガ百%、何等ノ疑ヲ挾ムコトノナイ言葉デアアルコトヲ希望致シマス、唯併ナガラ、解體スベカラザル船ガ此助成法ニ掛ラヌトシテ、新造船迄モ解體ノ形式ヲ取ッテ補助金ニ與ッタヤウナ話、若クハ疾ウニ此助成改善ノ爲ニ解體サレテ居ルベキ筈ノ船ガ、解體サレズニ取殘サレテ居ルヤウ

ナ話、斯様ナ話ニ關シマシテハ、私共モ相當ノ調査ヲシテ居ルノデアリマスガ、ドウカ牧野次官ニ於カレマシテハ、今後トモ十分ニ斯ウ云フ點ニ關シマシテモ當局ヲ鞭撻ヲサレマシテ、間違ノナイヤウニサレンコトヲ切ニ希望致シマス、隨テ牧野次官ノ答辯ニ信賴致シマシテ、私此處ニ色々ノ材料ヲ持ッテ居リマスルガ、此點ハ餘リ觸レマセヌ、又海運ノ政策ニ關シテ——所謂日滿統制政策ノ確立ヲ大ニ希望スルモノデアリマス、洵ニ希望シナケレバナラヌコトデアリマスルカラ、其答辯ニ私ハ無論議論ハアリマセヌガ、切ニ私牧野次官ニ御願シタイコトハ、海運業ノ如キハ特ニ日本ニ於テ重要デアラナケレバナラナイノデアリマス、此世界的ナ經濟ノ變革ノ情勢ノ申ニ居ッテハ一日モ忽ニスベカラザル問題デアリマスカ

ラ、牧野次官ヲ通ジテ現内閣ニ對シテ海運統制政策ノ確立ニ關シテ相當ナル方針ノ下ニ、相當ナル施設ヲ速ニ議會ニ示サレンコトヲ切ニ御願ヒ申上ゲテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○村上委員 昨日政府委員ヨリ、發動機船ハ帆船トシテ取扱ヲ爲ス、而モ發動機船ハ多ク帆ニ依ッテ航海スルノデアッテ、機關其モノハ補助デアルト云フヤウナ御説明ガ

アッタノデアリマス、是ハ私ハ大變ナ間違デハナイカト思フ、成程帆船ガ補助機關ヲ備ヘテ居リマスルモノハ、無論帆ニ依ッテ航海スルモノデアリマス、ケレドモ旅客ヲ扱ヒマスル發動機船ハ總テ機關ニ依ッテ之ヲ爲シテ居ルノデアリマス、而モ近時非常ニ發展ヲ致シマシテ、今日デハ百噸以上ノ發動機船ガゴザイマス、之ヲ帆船トシテ取扱フト云フコトニナリマスレバ、人命ノ安全ト云フコトヲ期スルコトハ私ハ出來ナイカト思フノデアリマス、統計ニ依ッテ見マシテモ、海難ガ多ク發動機船ニアリマス、昨日山村豐次郎君ノ御話ニアリマシタ大和丸ノ遭難ノ如キモ、三十九人ノ中デ三十八人マデ行方不明ニナッテ居リマスガ、是モ矢張發動機船デアッテ汽船デハナイノデアリマス、私ハ生命安全ノ上カラ申シマシテモ、此發動機船ニ對シテ何カ特別ノ取扱ヲシタラ宜イデハナイカト思フノデアリマス、之ヲ汽船ニ依ッテ取扱フスルト云フコトニナリマスレバ、非常ニ苛酷ニナリマシテ、設備萬端汽船ノ如キコトヲ爲スコトハ到底經濟上出來ナイノデアリマス、之ヲ帆船ニ依ッテ扱フト云フコトニナリマスレバ、其取締甚ダ不完全ノ爲ニ、人命ヲ連航スル上ニ於テノ缺陷ガ多イノデアリマス、故ニ私ハ此發動

機船ナルモノハ特別ニ何カ取扱ノ方法ヲ講ゼラレルノガ、最モ時宜ニ適シタモノデハナイカト思フノデアリマス、昨日私が要求致シマシテ御示シニナリマシタ此材料ニ依ッテ見マシテモ、我國ニ於ケル汽船ノ總數ハ八百四十一隻デアリマシテ、噸數ハ一萬千二百二十九噸、發動機船ハ三千八百七十八隻デアリマシテ、噸數ハ四萬四千七百四十九噸ト云フコトニナッテ居リマス、又海難ノ方面カラ觀察致シマシテモ、瀬戸内海ノ如キハ船數ノ多イ爲メ非常ニ海難ガアルノデアリマス、重大ナル損傷トシテ掲ゲテアルモノニ依リマシテモ、瀬戸内海ハ汽船ガ七十五隻、帆船ガ四十隻全損ノモノニ於キマシテモ、他ノ方面ニ比較致シマスレバ、非常ニ多イノデアリマス、是等ニ依ッテ見マシテモ、此發動機船ガ人命ヲ損フコトノ多イト云フコトヲ立證スルコトガ出來ルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ特別ノ扱ヒヲ爲スト云フ御考ハナイノデアリマスカ、之ニ對シテ御尋致シタイト思ヒマス

○淺野政府委員 村上サンノ御質問ニ對シテ御答申上ゲマス、昨日申上ゲマシタ發動機船ヲ帆船トシテ取扱ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマスルガ、是ハ純然タル發動機ノミヲ備ヘマシタ船ヲ帆船トシ

テ取扱ッテ居ル譯デハゴザイマセヌノデ、是等ノ發動機船ハ同時ニ帆走ノ裝置ヲ有ッテ居ルノデゴザイマシテ、發動機デモ動ク、又帆裝ニ依ッテモ動キ得ルモノナノデゴザイマス、其中ニ検査ヲ適用致シテ居リマスルモノハ、發動機船ナラバ無論適用スルノデアリマス、今申上ゲタヤウナ、帆裝ヲ有チ又發動機ヲ有チ、兩方ノ運航裝置ヲ有ッテ居ルモノニ致シマシテモ、旅客ヲ運ブ船デゴザイマス、或ハ曳船ヲ致ス船ニ付キマシテハ、其ノ運航狀態ニ鑑ミマシテ、之ヲ以テ純然タル汽船トシテ取扱フ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今御例示ニナリマシタ百噸以上ノ發動機船ノ如キヲ、帆船トシテ扱フノハ不合理デヤナイカト云フヤウナ趣旨ニ承ッタノデアリマスケレドモ、サウ云フ種類ノ發動機船ニ付キマシテハ検査ヲ致シテ居ルノデアリマス、又職員ニ付キマシテモ相當ノ職員ヲ乗組マシメルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、主トシテ問題ニナリマスルノハ五噸以上二十噸未滿ノ船デアリマシテ、此船ノ大部分ハ帆裝ト機關ト兩方備ヘテ居ルノデアリマス、而モ其中デモ旅客ヲ運ビ或ハ曳船ヲ爲スモノニ付キマシテハ、今申上ゲルヤウニ汽船トシテ検査ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○村上委員 只今政府委員ノ御答辯デアリマシタガ、政府委員ハ實際ノ狀況ヲ御承知ニナラナイノデヤナイカト思フノデアリマス、帆裝ト發動機トヲ備ヘテ居ルモノハ、常ニ帆ニ依ッテ航海ヲスルト云フヤウニ承ルノデアリマスケレドモ、補助機關トシテ備付ケテ居リマスルモノハ無論帆ニ依ッテ航海ヲ致シマシテ、無風ノ場合ニ補助機關ヲ利用スル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、是ハ政府委員ノ御説明ノ通りデアリマス、ケレドモ此旅客ヲ運航シマスル所ノ發動機船ナルモノハ、實際ニ於テ帆ト云フモノヲ使用致シマセヌ、持ッテ居リマセヌ、私共ハ常ニ之ヲ目撃シ常ニ之ニ乗船ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、總デ機關ニ依ッテ運航シテ居ルノデアリマス、而モ二十噸以下ノ船ガ瀬戸内海ニハ非常ニ多イノデアリマス、私ノ考カラ申シマシテモ百四十艘以上ノ船ガアリマス、而モ廣島縣ノ如キ二百四五十艘ノ船ガアリマスガ、是等ノ中ニハ二十噸以下ガ多イ、私ハ第二條ノ第一項全般ヲ適用スルト云フヤウナコトハ苛酷ト思ヒマス、電氣設備ノ如キハ其必要ヲ認メマセヌケレドモ、夫以外ノ項目ハ之ヲ適用致シマシテ、成ベク旅客ニ對シテ安心ヲ與ヘ、安全ヲ航海ヲセシメルト云フ

コトガ船舶安全法ノ骨子デハナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ若シ此船舶安全法ニ依ッテ律スルコトガ出來ナイト致シマスレバ、別ノ規定ニ依リマシテ人命ノ安全ヲ期スルヤウナコトニ御取扱ヲ致サレノガ、今日ノ最モ適シタ處置デハナイカト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ御答辯ヲ煩ハシタイ

○淺野政府委員 只今ノ御意見ノ御趣旨ハ御尤ニ存ズルノデアリマス、發動機船ニ付キマシテハ、昨日來モ申上ゲマスヤウニ、相當小サナ二十噸未滿ノ船ガ相當遠方マデモ航行致スノデアリマス、是等ニ付キマシテ相當ノ取締ノ方法ヲ講ズルト云フコトハ人命安全ノ見地カラ申シマシテ是非ヤラナケレバナラナイコトダト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併シ此船ハ非常ニ多イノデゴザイマシテ、確力二萬艘位ニ數ガ上ルヤウデアリマス、現在ト致シマシテハ之ニ關スル豫算モゴザイマセヌノデ、從來ノ取扱ノ儘進ミタイト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、安全法案三十二條ニ於キマシテ、サウ云フ種類ノ船ニ對シマシテハ、將來ニ於キマシテ豫算ヲ得マシタ場合ニ於キマシテハ、御説ノ通りノ方針ニ進ミタイ、是ガ三十二條ノ趣旨デゴザイマシテ、將來ハ御趣

旨ニ副フヤウニ努メタイト考ヘマス

○向井委員長 御諮リ致シマスガ、船舶安全法案、船舶職員法中改正法律案ノ二案トモ、質問ハ此程度ニ於テ止メタイト思ヒマスガ、如何デスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○向井委員長 ソレデハ質問ハ是デ終了致シマス、直ニ討論ニ入ルベキデアリマスガ、討論ハ追テ公報ヲ以テ期日ヲ御報告致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後零時十一分散會